



## 上島町総合防災訓練 ～自助・共助・公助～

令和7年度上島町総合防災訓練を、次のとおり実施いたします。

日 時 5月25日(日)

午前7時55分～(少雨決行)

※予備日 6月1日(日)

※悪天候で延期する場合は、当日の午前6時30分に決定し、防災無線・アプリ等で周知します。

訓練想定 午前7時55分 南海トラフ巨大地震が発生  
午前8時00分 避難訓練のための一斉放送  
(サイレン吹鳴) → 避難開始



総合防災訓練、自主訓練等についてのお問い合わせは、消防防災課(☎77-3166)までお願いいたします。

## 上島町消防本部の昔と今

上島町消防本部は平成16年10月1日に発足し、昨年で20年が経過しました。この間、消防本部では消防力の強化に努めてきました。消防庁舎は訓練棟も整備して新築し、多様な訓練を行う事が可能となりました。救急艇はフェリー型2隻体制に強化し、救急車に収容した傷病者を、乗せ換えなく直接病院まで搬送できるようになったため傷病者への負担が軽減されました。救急救命士は9名が在席し、7名を運用しており、今後も継続的に養成を行い救急体制の維持強化に努めて参ります。



島郡消防上島出張所(合併前)



現消防庁舎(平成19年3月竣工)

平成18年3月に全国初となるフェリー型高速救急艇として「ゆうなぎ」を就航しました。

旧 救急艇かみじま



救急艇「かみじま」をフェリー型に更新し、平成27年3月に就航しました。

救急艇ゆうなぎ



救急艇かみじま



## 令和7年3月出動件数

| 地区 | 弓削 | 生名 | 岩城 | 魚島 | その他 | 合計 | R7累計 |
|----|----|----|----|----|-----|----|------|
| 火災 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0    |
| 救急 | 14 | 8  | 5  | 1  | 0   | 28 | 107  |

(令和7年3月31日現在)

上島町消防署 ☎77-4118  
上島町消防本部 消防防災課 ☎77-3166

あなたのパワーと経験で 上島町を守ろう！  
消防団員 絶賛募集！

## 令和7年危険物取扱者試験のご案内

危険物の専門知識を要する資格試験にチャレンジしてみませんか？ 試験会場や受験方法などの詳細については、下記の連絡先に電話するか、QRコードを読み込むか、ホームページにアクセスして確認してください。また、上島町消防本部でも受験案内と願書を無料配布しております。

(財) 消防試験研究センター  
愛媛県支部 ☎089-932-8808  
<https://www.shoubo-shiken.or.jp>



コアオハナムグリというカンキツ害虫

5月は島中がカンキツの香りに包まれる季節を迎え、香りに誘われて多くの昆虫がカンキツの花に集まっています。

花粉や蜜を食べにやってきてカンキツの傷果を発生させるコアオハナムグリという昆虫が最近増えて農家を困らせています。

今回はコアオハナムグリという昆虫について解説します。

① コアオハナムグリとはどんな昆虫

コアオハナムグリはコウチュウ

ウ目のコガネムシ科の昆虫で、「カナブン」と呼ばれる虫の一種と言えばイメージできると思います。体長が10ミリ前後の緑がかった色のコガネムシです(写真1)。



写真1 コアオハナムグリ

成虫は5月～9月頃にかけて花の蜜や花粉を求めて色々な植物の花を渡り歩きます。コアオハナムグリは、白い花や蜜・花粉が多い花に集まりやすい、カンキツ類の花の構造が果実となる子房が花中にあるため吸蜜にきた虫が子房を傷つけやすい、ミツバチと異なり鋭い爪があるためひっかき傷が出やすいことからカンキツ類の害虫になっています。

虫に悪気はなくても小さな子房をひっかくため果実の肥大にともない傷も大きく

なり食味には影響しませんが外観を損います(写真2)。



写真2 コアオハナムグリ被害果

② コアオハナムグリの生態

年一回発生し、成虫は終齢幼虫で土の中で越冬し、4月末～7月頃に土中から出てきた成虫は花の蜜や花粉を餌に養分を蓄え交尾後、土の中に産卵します。幼虫はカブトムシと同様に土の中の腐熟物を餌に育ち、成長の早い個体は9月頃に成虫になります。

越冬明けの成虫の発生とカンキツ類の開花がほぼ同

時期となるためカンキツ類の花に多く飛来することとなります。

10月頃に成虫は土中に潜り越冬に入ります。

③ コアオハナムグリの多発生の原因

では、最近、なぜ被害が多くなったのか原因を考えてみました。①暖冬の影響で死亡率が低下した、②堆肥などをまく機会が増えたため産卵地が増加した、③カンキツ品種が増え開花期間が長く繁殖力が向上した、④農薬の効果が低下した、などが考えられます。

④ 被害防止対策

被害防止対策は、カンキツ農家が行っている開花期の農薬散布が最善策と考えられます。

白色や銀色の反射光を嫌う性質を利用してカンキツ園内の地面にシートを張ると飛来が減るようですが現実的ではありません。

農薬散布を行っても被害が多い原因として、①カンキツ園の外から波状的に飛来する、②コウチュウ類は大型の昆虫のため農薬の効果が見れにくい、③人畜に安全性の高い農薬のため効果の持続期間が短い、④カンキツ類の品種が多く開花期が異なるため適期防除が難しい、など防除効果が上がりにくい原因と考えられます。

コアオハナムグリの農薬による防除効果を向上させるためには、①開花2～3分咲き頃に1回目の防除を行い、訪花密度が下がらない時には8分咲頃に2回目の防除を行う(農薬の適期散布)。②飛来の時間帯は午前中が多いので農薬散布は午前中に行うとよいようです。

農薬の選択は、JAの柑橘防除暦を参考にしてください。